

いなぎ市民活動交流フェスタ 2018 を開催します！

縁側でつながる ～ひと×まち×活動～

これまで毎年「市民活動フォーラム」を開催してきましたが、今年は名称を「市民活動フェスタ」に改め、会場内に「まちの縁側」を模した幾つかの島をつくり、模擬店も設けて、参加者同士が飲食しながら、気軽に楽しく交流できるフェスタを開催します。

定年を迎えたり、子育てを終えたので地域デビューをしたい。今も活動は行っているが、もっと他の団体の方々と交流し、ネットワークの輪を広げたい。地域ですてきな人間関係を築きたい等々……どんな動機でも結構です。

新しく楽しい出会いのために、ぜひご参加ください。

- 日 時：12月8日（土） 11：00～15：00
- 会 場：稲城市地域振興プラザ 4F
- 参加費：300円（1ドリンク付き）
- 主 催：NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ

当日は、サポートセンターに登録している団体の中から次の団体を選び、その活動を資料で紹介するとともに、団体メンバーへのインタビューを予定しています。

- ・ いなぎコミュニティビジネスクラブ（ICBC）
- ・ NPO 法人東京稲城里山義塾
- ・ オレンジi（認知症介護者の会）
- ・ ここいいなぎ
・ 心育稲城
- ・ NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ
- ・ YOSAKOI いなぎ藍の風
- ・ おどれん
・ 乙奴連

東京稲城里山義塾



いなぎ藍の風



乙奴連



◎申込み・問合せ先：市民活動サポートセンターいなぎまで、電話またはメールをお願いします。

TEL 378-2112 Mail info@i-inagi-support.org

※参加ご希望の方は、出来るだけ事前にお申込みください。ただし当日参加も可能です。

おせきはん さくらまつり



お赤飯

お赤飯

お赤飯

百村のふれあい育む女性防犯

高齢者を主なターゲットにした振り込め詐欺（特殊詐欺）の被害防止や、交通安全など子どもの見守りに活躍する多摩稲城女性防犯百村支部（以下、女性防犯百村支部）。防犯活動だけでなく小・中学校や地域の行事にも積極的に協力するなど、百村地区の「住みよいまちづくり」に大きな役割を果たしています。

今回は、来年 20 周年を迎える女性防犯百村支部の活動を中心に、百村地区の安全安心なまちづくりの取り組みを紹介します。



汚いまちは泥棒が増える

女性防犯百村支部の結成は平成 11 年 3 月。多摩中央警察署が各地区に女性の防犯グループ作りを進める中で、当時の百村駐在所の西村巡査と百村自治会の協力のもと結成されました。

「うちの娘が男の人に付きまとわれるということがあり、相談のために警察の集まりへ行ったら、それが実は女性防犯設立の準備会合で、百村支部の立ち上げに関わることになりました。はじめはメンバーになってくれる人が見つからず、その頃の自治会理事の奥さんへ加入してもらったりして、13 人で発足しました。その後、旦那さんは理事を退いても奥さんは残ってくれて、今のような姿になりました」と創立メンバーの岡信子さんは振り返ります。

当初は何から始めたら良いか、どんな活動をすれば良いか、暗中模索の状態でした。犯罪学者・小宮信夫教授の「地域安全マップ」の講演会や警察の講習会を聴きに行ったり、防犯ボランティア団体の活動研修会に参加したり、NHK

で放映されていた「ご近所の底力」などのテレビ番組からヒントを得たりして、研究を重ねたそうです。

そして始めたのが、地域の美化活動でした。「汚いまちは泥棒が増える」ということで、地域のゴミ拾いから始めたのですが、「今でこそまちはきれいになりましたが、当時は大きなゴミ袋がすぐ満杯になってしまうほどで、持って歩くにも重くて大変でした。市役所に臨時に回収をお願いしたり、ゴミ収集中のトラックに途中で止まってもらって回収してもらったり、皆さんには親切にしてもらいました」（岡さん）。

やがて活動の輪が広がっていき、地域の住民や店員さん、稲城三小の児童や五中の生徒のみならず、犬の散歩に来た人などもゴミ拾いをしてくれるようになりました。「ゴミ拾いを通じて、みんなが『ここは自分のまち』という意識を持つようになり、地域がまとまったように思います」（岡さん）。毎年春に行われる三沢川清掃でも、百村地区は大勢が和気あいあいと参加している様子が印象的ですが、そのルーツはこの頃にあるのかも知れません。



年金支給日には金融機関の前で
特殊詐欺防止のチラシを配ります



稲城三小と向陽台小の子どもたちの
安全を守るため、下校時の見守り活動



市内一斉防犯パトロールなど行事への参加はもちろん、
PTA 等と一緒に地域安全パトロールも行います



百村地区春の恒例行事「さくらまつり」では、
手作りのお赤飯が毎年大好評です

寸劇で詐欺の被害を防止

また、特殊詐欺（当時は「オレオレ詐欺」）があまり知られていない頃から、メンバーの家に集まって勉強会を開いていましたが、その数日後に実際に詐欺の電話がかかってきて、「勉強会に参加していなかったら知らずに被害に遭っていたところでした。すぐ駐在さんに電話しましたが、怖くなってその日は一日中手足が震えていました」（メンバーの天野眞美さん）。そこで、特殊詐欺の被害に遭わないよう勉強会を頻繁に開くようにしましたが、改まった場所で行うと高齢者などが来にくいので、メンバーの自宅で行ったり、介護予防の転倒防止体操の会場へ出向いて話すようにしたところ、自身の実体験を交えた話なので、皆さん真剣に受け止めてくれたそうです。

その活動が発展し、メンバーが作った台本で特殊詐欺の被害を防ぐ寸劇を演じるまでになり、百村地区のみならず、稲城市の「くらしフェスタ」やシルバー人材センターの総会、向陽台まつりに招かれて披露するなど、大きな話題になりました。

現在は丹羽玲子会長のもと、特殊詐欺防止のチラシを毎月15日に百村駐在所の横山巡査と一緒に配ったり、年金

支給日に金融機関で高齢者に手渡し活動を行っています。その中で地域の高齢者の体験談や不安な思いを聞くなど、防犯意識を高めるコミュニケーションが図られているようです。

安心して住める地域であってほしい

百村地区も稲城市のご多分に漏れず、転入で新たに住民になる方が増えています。「私たちも通勤族の家庭で、知らない土地に引っ越してきて、地域のことを知りたいと思っていたところへ、女性防犯に声をかけてもらったおかげで、知り合いが増えて世界が広がりました」という丹羽さん・天野さんの話に象徴されるように、百村地区の女性防犯は、転入で稲城市民になった奥さんのメンバーが多いそうです。そこで、年1回の日帰り研修旅行（次回は羽田空港の航空機整備場見学を予定）やランチ会、新年会などでチームワークを強め、春のさくらまつりや夏の盆踊り、秋の百村地区運動会、堅神社例大祭など行事に積極的に参加して、地域の盛り上げにも一役買っています。

「子どもも高齢者も、安全で安心して住める百村地区であり続けてほしい」との願いを持ちながら、「明るく楽しく」をモットーに防犯活動を続ける女性防犯百村支部です。

架空請求ハガキ 詐欺にご用心！

女性防犯百村支部はこのほど、最近急増している架空請求ハガキによる詐欺被害を防止するためのチラシを作成しました。

同支部では、仕事のため平日昼間の活動は参加できないけれども、パソコンを使った作業は得意というメンバーが「事務局」を務め、予定表や広報チラシを作成するなど活動をバックアップしています。

今回のチラシも事務局メンバーの自作によるもので、百村自治会で800枚を印刷して、自治会の回覧や女性防犯メンバーの手渡しにより、配布しています。

手渡ししていく中で、この架空請求ハガキは、高齢者だけでなく若い世代のもとにも届いていることが分かったそうで、今や特殊詐欺のターゲットは高齢者だけではなくなったようです。

このハガキも詐欺!!!

えっ!?
訴訟?



消費料金に関する
訴訟最終告知のお知らせ
この書をご通知しましたのは、貴方の利用されている契約会社、もしくは運営会社から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されました事をご通知致します。

管理番号(社)309 権利取り下げ
訟を開始させていただきます。
尚、このままご連絡なき場合は
法的に受理され、執行官の
活動、不動産の差押え等
も発生しますので、貴方の
件をご承認いただき民事訴訟
権利取り下げなどのご相談に
来ておりますので、お電話
尚、貴方での連絡となります
の為、ご本人様からご連絡
上げます。

※取り下げ最終期日 平成23年8月28日
法務省管轄支局 訴訟最終告知センター
東京都千代田区霞が関2丁目6番1号
取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-426-4882
受付時間 9:00~20:00(日、祝日を除く)



法務省管轄支局 訴訟最終告知通達センター
東京都千代田区霞が関2丁目6番1号
取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-426-4882
受付時間 9:00~20:00(日、祝日を除く)



訴訟をほのめかすハガキが届いても
電話しないで!

ハガキが届いたら多摩中央警察署へご相談ください
☎042-375-0110 女性防犯 百村支部

おじゃまします

ここいくいなぎ 心育稲城

発達障害など育児や家族について悩みを持つママと家族をサポートする「心育稲城」。保育士でチャイルドコーチングアドバイザーのオマリ晶子さんを中心に、コマクサ幼稚園で出会った4人のママが2008年に立ち上げ、子どもを遊ばせる公園で知り合ったママ友などに輪が広がって、現在40家族ほどが参加しています。

毎月第2・4水曜日の午前中に行う「定例茶話会(育児に役立つ心理学等をやさしく学ぶグループワーク)」と「子育てサロン(子育て中のママなら誰でも参加できるお母さんの居場所)」の活動をメインに、臨床心理士や保育士など福祉専門職・学生ボランティアと連携して、社会で他者と関わって生活していくための「ソーシャルスキルトレーニング教室」や、自らの実体験を基にママの悩みに共感しアドバイスする「ピア養成講座」、「保育士試験講座」なども開催、ママのエンパワメント(自らの能力を開花、発展させる)に取り組んでいます。

発達障害などの子を持つママが友達に悩みを話しても、「うちもそんなことがあったよ」などと流されてしまいがちですが、「ここに来れば同じ悩みや経験を持つ



ママ同士で分かり合えることが多く、心が軽くなる」「公的な相談先を教えてもらったり、子育てのヒントやアドバイスをもらえる友達ができて心強い」とメンバーの皆さんは異口同音に話します。

また、子育ては幼児期、小学校、中学校…と、成長に伴って公的な相談や支援の窓口が変わってしまっていますが、心育稲城は生涯切れ目のない支援を続けられる点が特長。今後は、相談内容に応じて行政の支援にもつなげていく考えです。

子育てに悩むお母さん、一度気軽に参加してみたいかがでしょう。

○お問い合わせは、eメール(kokoiku.i@gmail.com)でどうぞ。